

東村山 生活者ネットワーク

政治は生活を良くする道具
「日々の暮らしからの声」と「市政」をつなぐ



市議会議員
大塚恵美子



市議会議員
白石えつ子



小柳智恵:元東村山・生活者ネットワーク事務局長、(一般社団法人)ワークス・コレクティブ 専理 理事長



桑原りさ:1962年 世田谷区生まれ 東京デザイナー学院卒 デザイン会社勤務 1986年-93年ニュージーランド、オーストラリア在住 1995年東村山市に転居 2013年市男女共同参画推進審議会委員



白石えつ子:1959年 栃木県足利市生まれ 埼玉県立浦和商業高校卒 小西六写真工業KK勤務 1997年東村山市に転居 2015年東村山市議会議員

現場はまちだ！ だからネットは面白い！座談会

小柳 桑原さんは議会へ再挑戦ですね？

桑原 孤独な子育てに悩み子育て冊子を作り、ネット企画の子ど

もの居場所と支援の見学に参加した事で「社会と政治」に目が向きました。市民参画型の

ネットの政治だから、思いもよらず議員に挑戦できました。1期4

年の議員活動後は事務局長として現在に至りますが、残念ながら子育て環境はまだ発展途上。今回、大塚恵美子

議員が3期12年で交代するにあたり、「私がすすめていく」という決意です。

小柳 真つ先にやりたことは？

桑原 子育てが楽しくなるようにしたいです。ママ・パパが忙しく、祖父母があてにさ

れたり、虐待やネグレクトで子どもの命も奪われています。市民力や地域力を活かし子育て支援の仕組みを作りたいです。

白石 議員は議会で即決する事も多く、責任

が大きいと痛感しました。主に障がい者支援をテーマに取り組み、障がい児も共に学ぶ教育を実践している小・中学校を市民と一緒に訪問し、議会質問を作

り現場の声を取り入れた活動を進めることができました。

大塚議員が取り組んできた子どもや女性の

人権、3.11以前からの平和やエネルギー自給、脱原発、障がい者の問題は、議員が二人

になり情報発信する機会や、政治に関心を持つ身近な人が増えたと思います。

小柳 政策である「誰もが暮らしやすいまち」に「子ど

小柳 障がい者が暮らしやすいまちは誰もが暮らしやすいまちになります。これまでの障がい者「自己責任とする医学モデル」から「社会の障壁と一緒に解決する社会モデル」へと変えることができるのは、私の役割だと思っています。

小柳 「暮らしやすいまち」は平和と人権があつてこそですね。憲法改定の動きが加速していますか？

桑原 現憲法は平和と人権を守っています。自民党改憲草案ではないがしろにされています。平和を継続するために、多くの人に関心を持つて欲しいです。

白石 戦争で真つ先に権利を奪われるのは障

がい者や子ども。昨年、西東京市に「子ども条例」ができたので、東村山でもチャンスです。

小柳 超高齢社会で労働人口は減少。子育て中の人や高齢者の柔軟で緩やかな社会参加や働く場も必要ですが？

桑原 子育て中はもちろん、高齢でも働く場があれば生き生きと暮らせ、地域内で経済がまわり地域が豊かになります。

白石 障がいがあっても無くても、学ぶ機会と働く場の保障が必要です。違いを認め合う働き方、得意分野で活躍できる働く場を地域に作っていきます。

4月統一自治体選挙、夏には参議院議員選挙があります。

あなたの1票で東村山が変わります！

子どももおとなもひとりにしない

市議会議員

大塚恵美子

詳細はこちら

http://otsuka.seikatsusha.me/

twitter: @otsukaemiko

Facebook: emiko.otsuka.186



12月 東村山市議会報告 生活者ネットワーク一般質問より

教育機会確保法施行による不登校対策について

2016年「教育機会確保法」が成立しました。文科省の通知では、「不登校は『問題行動』と判断してはならない。不登校児童生徒が悪いという根強い偏見を払拭することが重要」と示されています。

市内不登校児童生徒数は229人(2016年)。不登校の子も通う「希望学級」(大岱小内)登録数は68人、「分室ほーぷ」(いきいきプラザ内)は8人。義務教育でありながら毎日学校に通えていない子ども達が大半です。

ジェンダーの視点を取り込んだ政策をメインストーリーに

2019年に100年を迎えるILOは「ハラスメント禁止の条約」採択をめざしている。日本では職場でセクハラを経験した人の割合は約5割とされるなど、ジェンダー平等から遠い現実がある。全ての政策、施策について、ジェンダー平等の視点をもつ「ジェンダー主流化」の実現についてたずねた。性別にとられない施策を進めていきたいとするが、策定と公表が義務付けられ

障がいのある人もない人も共に生きる

市議会議員

白石えつ子

詳細はこちら

http://shiraishi.seikatsusha.me/

Facebook: 白石えつ子



11/4 子どもの権利条約フォーラム全国大会inとちぎに参加
不登校状態にある子ども達の新たな居場所の事例報告は学ぶところ大



11/9 リヒテルズ直子さんを講師に「オランダの性教育」について学ぶ。性教育が進むことは子どもの人権を守ることにつながるリシズンシップ教育になっているとの発言に、日本の性教育の遅れを突きつけられた。

はじめの一步カレンダー



11/15 秋津町にある「秋水園」焼却炉の老朽化対策と今後のごみ焼却施設のあり方を話し合う市民との意見交換会。



11/24 ソーシャルマラソン略して「シャルソン東村山」に息子と参加しまちを散策。市内にある人権の森国立多摩全生園ハンセン病資料館で、差別や偏見の歴史を学ぶ。



12/18 川崎市にある障がい者が働く就労継続支援A型事業所を見学。ここは障がい当事者が事業を主体的に運営「ブレイメン」商店街に出した店舗は、おしゃれなブレイメンフェアリーテール

海洋プラスチックごみ削減を！

年間3.8億トンものプラスチックが生産されています。中でもペットボトルやレジ袋はポイ捨てが多く、河川や海に流れこみ、海の生態系への悪影響が心配されています。

状況です。目的は学校に戻すことではありません。多様な学が権利が尊重される学校・学級の在り方を追求していきます。

状況である。容器包装プラスチック類は、中間処理で全量資源化できている。一方、市民のモラルや生活スタイルを見直すことも重要」との見解。

「無償化意見書」子どもの権利の階段を外さないで

2019年は国連子どもの権利条約採択30年となる大きな節目の年だ。子どもの貧困、虐待、いじめなどにみえる現象は、子どもの育ちを尊重する環境の整備や普遍的な子どものしあわせのための社会的な理念、構築が立ち遅れていることを顕著に現わしている。

12月議会議員提案された国への「幼児教育・保育の無償化に関する意見書」もその側面を浮き彫りにした。今年10月から実施予定の「幼児教育・保育の無償化」は国が消費増税を財源として無償化を提唱したものが、突如、地方自治体に新たな負担を求める考えを示した。全国市長会も反発し「子どもたちのための幼児教育・保育の無償化」を求める緊急アピール」が出されている。市議会でも、無償化に関する議論があり、議会運営委員会で見解を交換し、とりまとめを行った。「無償化は国の責任において恒久的に全額を支出し、また、区市町村が指導監督権限を有しない無認可施設等への無償化は安全確保の観点から疑義があること、地方分権の趣旨に基づき合意形成をはかること」などを要望したものだ。

あった。

東京・生活者ネットワークが調査、発表した「ジェンダーイコールランキン」では東村山市は都内49自治体中32位であり、残念ながら結果と市長は認めるが、男性の育児休業取得率や中学での男女混合名簿実施率が0%であることなど、ジェンダー主流化を実現させる環境整備や議論の不足そのものが課題だ。

れる新たな制度だが、2人にひとりが非正規公務員であることから、労働者の権利と平等の確保について確認した。東村山市は嘱託職員の手当や待遇などを保障した独自の条例がある。

「会計年度任用職員制度」導入について

2020年から施行される新たな制度だが、2人にひとりが非正規公務員であることから、労働者の権利と平等の確保について確認した。東村山市は嘱託職員の手当や待遇などを保障した独自の条例がある。

新制度に移行しても報酬の低下や再度の任用を妨げることはない、との答弁や、雇用不安をもたらすことのないよう付記された「国会付帯決議」についても、市長は不利益を生じさせない制度設計を行う、との見解を明確にした。ワーキングプアを生まない働き方を自治体から実現させたい。

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員はローテーション ■生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業、特権化しません。ローテーション後は、市民活動などに経験を生かします。
- 2 議員報酬は市民の活動資金に ■議員報酬は市民の政治活動資金として使い、お金の流れはすべて公開します。
- 3 選挙はすべて手作り ■選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

カンパで応援隊 募集中! カンパ1口1,000円 郵便振替 加入者名/東村山 生活者ネットワーク 記号:00190-7 番号:280305 会員・賛助会員 募集中! TEL/FAX 042-392-7677



10/27 美住町のリサイクル施設夢ハウス「20周年記念イベント」にゲスト出演の柳家・柳亭こみちさんと、昨年、真打に昇進しこみちさんは地元出身富士見小1中の卒業生。

まちカフェ日記



11/10 「東村山市産業まつり」に、東村山エナジーと地産地消のご当地電力・エネックスがコラボレーション。再生可能エネルギーへのパワーシフトを提案し、缶バッジを販売中。



11/19 わが家で毎月開催の「まちの縁がわ・美住」が5周年を迎え、森悦子さん演奏のアイリッシュ・ハープのミニコンサートを楽しみました。

11/30 冤罪被害を取り上げた「獄友」上映会@サンバルネ。金聖雄監督が登場しトークで観客を沸かせた。「不運だったけど不幸ではない」獄友の不思議なつながりに笑いと共感が。

容器包装プラスチックごみの

中間処理施設の見学に

私達の出したごみはどこでどう処理されて、どうなるのか。身近なものに知っている人は少なく、見落としがちな問題です。

伺ったのは、運動公園近くのか藤商事株式会社の施設。集めた容器包装プラスチックごみの袋を開けて、再利用可能なゴミを圧縮して別の処理施設へ渡す働きをしています。

私は外注されている事も、このような中間処理施設がある事も知りませんでした。

東村山市内の容器包装プラスチックごみは全て、この施設に集められて処



不適切なプラスチックと未開封の食品

理されるそうです。そのごみの中にはライターや未開封の食品など棄ててはいけない様々な物が混入されており、一つ一つ手作業で選り分けられていました。その手間と時間は本来は必要の無いもの。ごみを捨てる方々の気持ちひとつで変わる物です。気をつけて分別したいものですね。

見学の後も、色々なお話を聞きました。その中で疑問に思ったのは、

「有料ごみ袋もストローも、容器包装プラスチックでは無いので「再利用可能」として出せない、という点。同じプラスチック製品でありながら、なぜ分けなくてはいいけないのか。有料ごみ袋はなおのこと、せっかく有料で買った袋が一番に「再利用可能」として出せて当然と



作業の様子を見学

思うのですが。材質としては問題無いけれど、販売時に「容器を包装して売っていないから駄目なのだそうです。体裁や概念では無く環境を考え、より再利用可能な社会を目指していけたら嬉しいな、と思います。

(萩山町 Y.T.)

※容器包装リサイクル法では、「容器包装プラ」の定義に、有料ごみ袋は「再利用可能プラスチックに分類されない」という制度に矛盾があります。

子どもの権利が保障されるまちに!

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」とは、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。

18歳未満の児童(子ども)を権利をもつ主体と位置づけ、ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子ども達の権利も定めています。

- ・生命、生存及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)
- ・子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)
- ・子どもの意見の尊重(意見を表明し参加できること)
- ・差別の禁止(差別のないこと)

日本は、1994年に批准しています。

今、子ども達を取りまく現状は、

虐待・貧困・不登校・いじめなどにより、いのちが脅かされています。これは、明らかに子ども達の生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利が阻害されています。

昨年、西東京市で、子どもの育ち、学び、参加する権利を支えるまちへ、子どもが失敗しても間違いをしても、何度でもやり直すことができるまちをつくりたいとの理念のもと、10年の紆余曲折を経て、「子ども条例」が制定されました。

子どもの権利条約に照らし、

未来を担う子ども達は、まちの尊い宝です。今後、訪れる少子高齢社会を考えた時、どのような状況にある子どもでも、すべて守られるべき存在です。

東村山市でも、西東京市に倣い、本市にあった「子ども条例」制定の実現をめざすべき時であると考えます。市民、行政、民間団体、そして、主体者である子ども達を真ん中に制定に向けた歩を進め、子どもの権利が保障されるまちをめざします。

(白石えつ子)